

脂肪肝・肝硬度検査について

この検査は、どのような検査でしょうか？

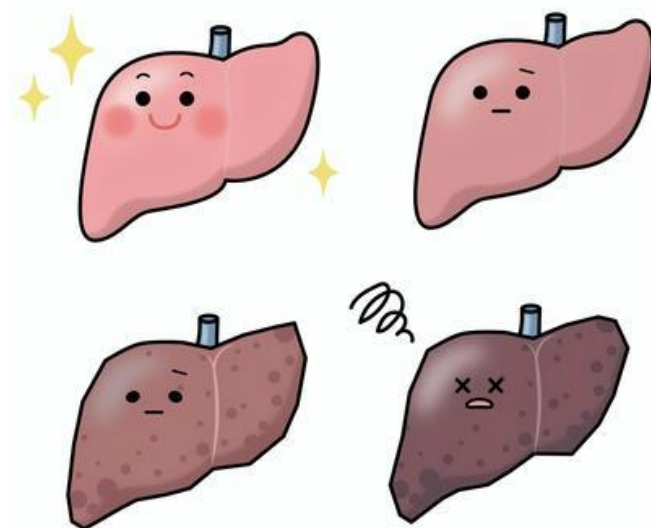
肝臓の組織が硬くなっていないかどうか、また肝臓内部に沈着する脂肪量も測定できます。

なぜ肝臓の硬さ、肝臓内部の脂肪量を測定した方がいいのでしょうか？

近年、食生活やライフスタイルの変化に伴う肥満、糖尿病、高血圧、脂質代謝異常などの増加を背景に、メタボリック症候群が注目されています。肝臓への中性脂肪の蓄積（脂肪肝）がメタボリック症候群に高頻度に合併していることが知られています。脂肪肝は放置すると、脂肪肝炎→肝硬変→肝臓がんへと進行する可能性があります。また、お酒を飲まない方も脂肪肝になることがあります。しかも、「沈黙の臓器」と呼ばれる肝臓は、肝臓に障害が起こっても気が付きにくく、病気が進行してしまうと治療が難しい場合があります。肝硬変や肝臓がんになる前に、脂肪肝の早期発見・早期治療に努めることが大切と言われています。

この検査をおすすめする人は？

脂肪肝といわれた方
アルコールを多飲する方
食べ過ぎや運動不足の方
肝機能の数値が高いと言われた方



検査時間は？

5分くらいです。

検査方法は？

- ・腹部超音波の機器で測定します。
- ・痛みはありません。
- ・皮下脂肪が厚い方は正確な数値が出ないことがあります。

料金は？

1,020円(税込)

※上記は腹部エコー検査（5,780円）に追加時の料金

詳細は、朝倉医師会病院 健診科カウンターまでご相談ください。

